

## 冬に向かう干潟

### ■ 静かな水辺

気温が低くなり、蒲生干潟の水辺も静かになってきた。水中ではビリンゴ (Fig. 1)、石の下にはケフサイソガニ (Fig. 2) の姿が見られた。ヨシが種子をつけており水辺に多数見ることができた (Fig. 3)。



(Fig. 1 水中のビリンゴ)



(Fig. 2 転石の下のケフサイソガニ)



(Fig. 3 ヨシの種子)

9月から堆積した河口域の砂は、前回調査時と変化は見られなかった。Fig. 4は4枚の写真を合成したものであるが、砂が堆積する前は赤色の線が汀線であった。堆積前は、赤色の線から七北田川に面した範囲にはFig. 5のような湿地が広がっていた。



(Fig. 4 砂が堆積した河口)



(Fig. 5 湿地)

### ■ 鳥の来訪

カニや魚類は冬越しに向かっているが、入れ替わるように干潟で冬を越す鳥たちの姿が見られ始めた。ミユビシギ (Fig. 6) やウ (Fig. 7)、チュウサギ、マガモの群れが観察された。



(Fig. 6 ミユビシギ)



(Fig. 7 ウの群れ)